

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
敦賀市立子ども発達支援センター パラレル 児童発達支援事業所		令和7年3月12日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			・配置数は適切ではあるが、個別支援が必要なお子さんの支援を思うと、職員配置に余裕が欲しい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・一人ひとりに応じた環境設定を曜日ごとに設定しています。療育参観等で保護者見学の機会も設けています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・清掃委託をしている。 ・毎日の清掃とは別にそれとは別に午前療育が終了後にも各部屋消毒、清掃等は欠かさず行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・個別の部屋や、クールダウンができるように個別の場所を用意できるように(テント等)しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・振り返り児童発達支援会議等で伝達や、引継ぎを行っている。 ・担当が変わる月末に、引継ぎ表を全員が記入し、全員で回覧している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・集団療育のご利用の方には、保護者ミーティングだけではなく、今年度は療育参観週間を設けて意見交換等を行った。 ・個別療育では対応可能な際は、職員2人であることで保護者の方と話す場をもっている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・今年度は今まで以上に伝達研修や、法人内で研修をする機会をもつことができた。 ・勉強できる機会が多く、ありがたい。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・療育実施書を活用している。 ・療育実施書の見直しを行った。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・アセスメントを適切に行い、より保護者に寄り添った支援と計画作成に心掛けている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	・今年度は法改正により支援計画の形式が変わって、職員全員で勉強中。 ・支援計画の勉強会も行った。 ・案の段階で、全員でしっかり検討している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・「情報共有」を一番大切にしている。そのうえで計画に沿った支援を心掛けている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・必要な項目が適切に設定されている。 ・法改正もあり勉強中ではあるが、適切な設定と支援が行われている。	

核 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・曜日ごとのグループリーダーを中心として、立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・今年度新しい遊びの調整をたくさん行っています。 ・職員間で活動の検討も行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・療育プログラムは多い。 集団療育、個別療育、運動小集団 低年齢児集団 等（年度によって違う）	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・毎日打合せを、というわけではないが週間での確認や児童発達支援会議を定期的にチームで支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・振り返りを行っている。 ・情報伝達は勤務時間が違う職員にもしっかりと行えるように意識している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・記録に基づいた検証・改善を行っている。	・記録の負担を軽減し、より支援に時間を掛けられるように検討していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・主には児童発達管理責任者が参加しているが、細かい支援の様子を伝えるために各担当も参加することもある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			・同法人の保育園との連携をもう少し密に検討したいと考える。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・支援内容の情報共有は担当者会議等もしっかりとつとめて、相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・就学前の時期にしっかりと引継ぎや、引継ぎ会議の場を学校によって設けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7		・通所連絡会の場を設けて、意見交換を行った。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7		・専門家や、療育センターの集団指導を受ける機会を何度も設けている。	・外部研修は受けているが、他にも現場に活かしやすい遊びや活動を学べる研修会に参加したい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	1		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・個人情報のある件もあり、難しさを感じている。 ・同法人の保育園との連携をもう少し密に検討したいと考える。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・連絡帳やLINE、または療育の中で様子や支援について伝える場を設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・保護者向けの研修会を今年度2回設けた。 ・ペアレントトレーニングも今年度受講職員がいるので、力を入れていきたい。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・LINEという便利なものもあるが、顔を見て意向を確認する面談の時間も大切にしている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・同意を得て支援を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・モニタリングだけではなく、必要に応じて面談を設けている。 ・療育参観週間を設けた。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・土曜開所を利用し、保護者の方やきょうだいに参加できるイベントを多く企画した。 ・今年度、きょうだい支援に関する講演会とクレヨン作りというきょうだい児のイベントを年度末に予定している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・法人で「敬仁」を発行している。 ・施設のSNSはしていないが、定期的に様子をお便面や写真付きのLINEにて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	・最近では土曜開所日のイベントに、キッチンカーや敦賀市内のお店が多く協力してくれるようになった。 ・地域の企業とのコラボイベントも毎年定例イベントになってきている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・避難訓練等を行った際は、参加した集団のご家族にLINEを活用して周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・訓練を行っているが、基盤をもっとしっかり作っていきたいと考える。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・モニタリングの際に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・利用開始時に、全員食物アレルギーのアンケートを行っている。 ・除去食の子どもに対しては、毎月献立メニューのチェックを行って頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・ヒヤリハットについてはあげているが、事故を防ぐという意味でよりヒヤリハットをあげやすい状況を作れるとよい。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・障がい者施設と合同研修として虐待研修を、受けております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・姿勢保持のためU字型クッションや、ベルトを使用する子どもに関しては、支援計画に記載している。		